

グラフで見るインド経済 2026 年8月号(No. 200)

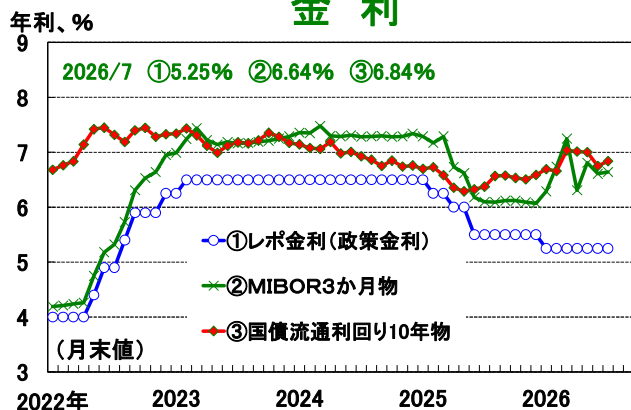
インド景気は緩やかに改善している。企業部門では、6月の輸出が前年比+15.5%と3か月連続で2桁増となった。内訳をみると、米国向けが減少したものの、中国向けは増勢が拡大した。また、同月の鉱工業生産指数は同+7.3%と3か月連続で伸びが加速した。内訳をみると、鉱業が増加し、製造業も前月に比べて伸びが高まった。ただ、7月の製造業PMIは53.5と2か月連続で低下し、製造業の景況感は悪化した。一方、家計部門をみると、6月の新車販売台数が前月比-3.4%と2か月連続で減少するなど、個人消費は弱含んでいる。

【足元の景気判断】

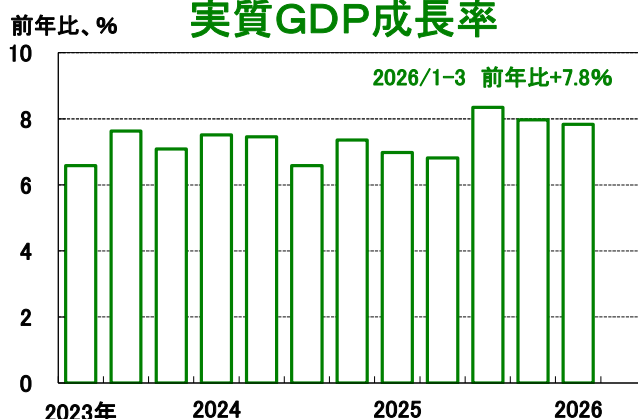
指標	景気全般	輸出	新車販売	鉱工業生産	製造業PMI
判断結果	↑	↑	→	↑	↓

(注) 矢印は概ね3か月前との比較。青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化を、白の矢印は横ばいを表している。

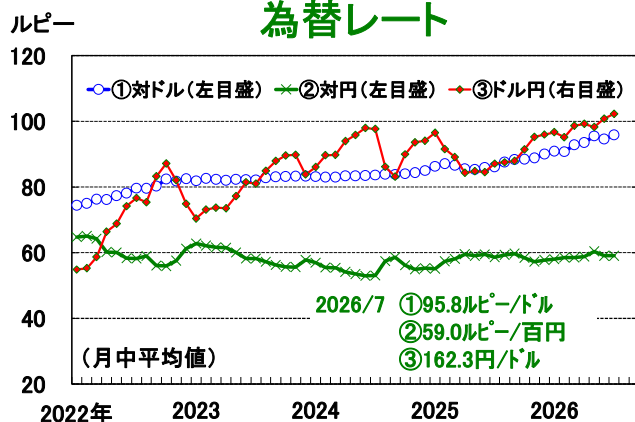
金利



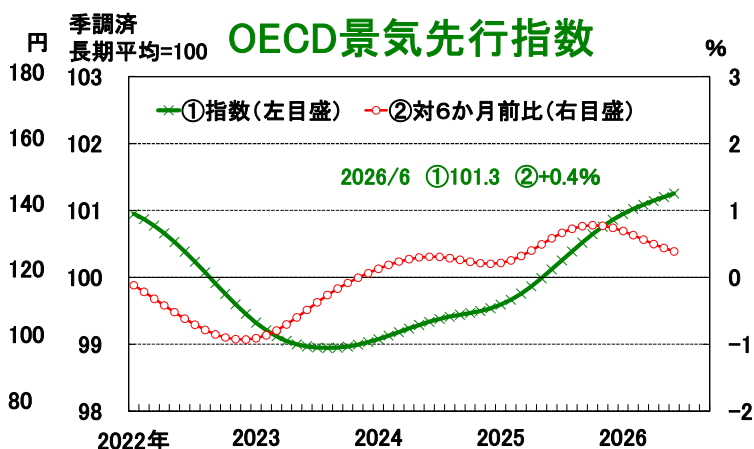
実質GDP成長率



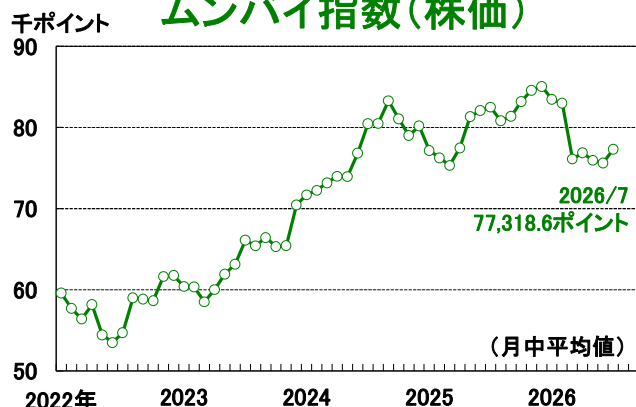
為替レート



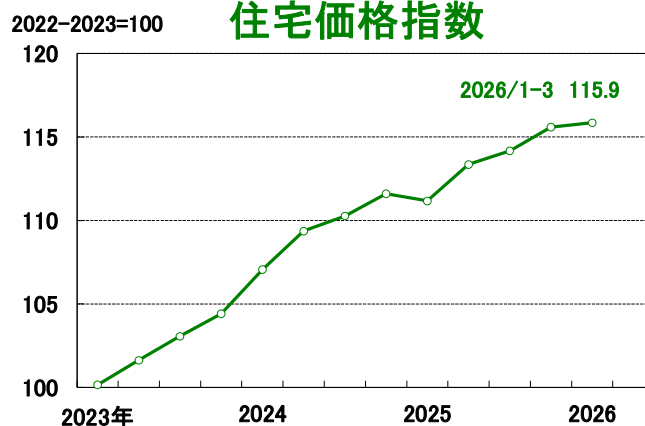
OECD景気先行指数



ムンバイ指数(株価)

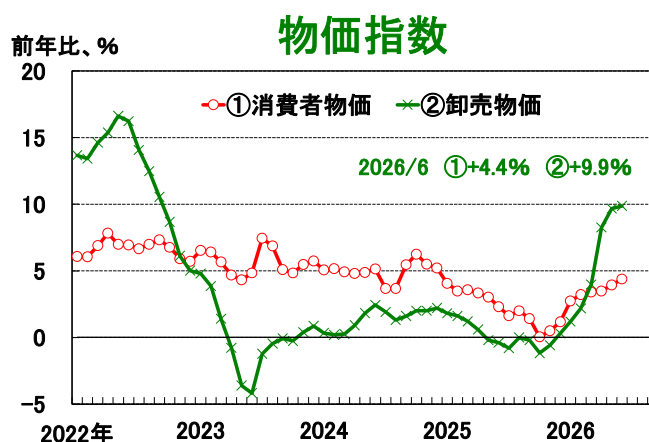
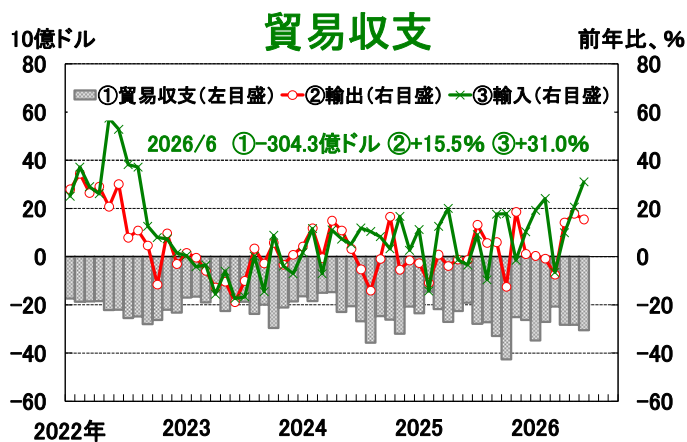
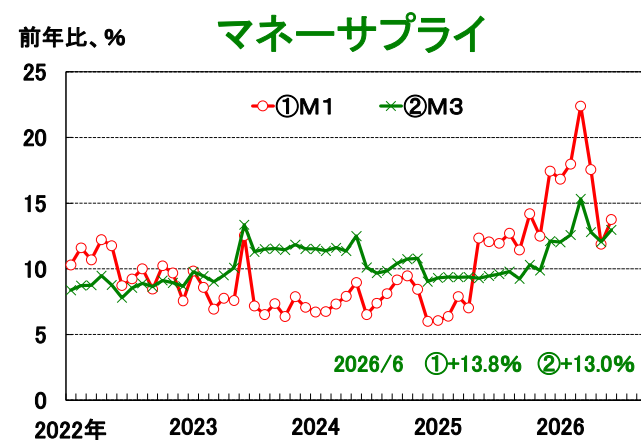
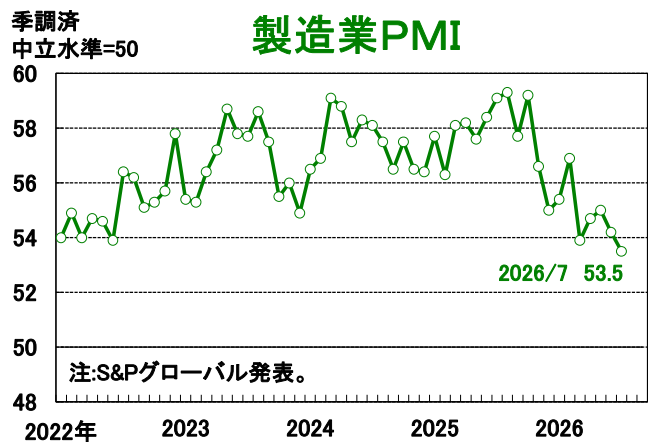
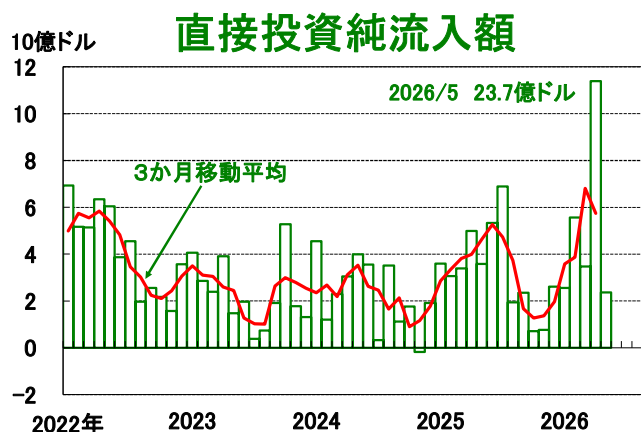
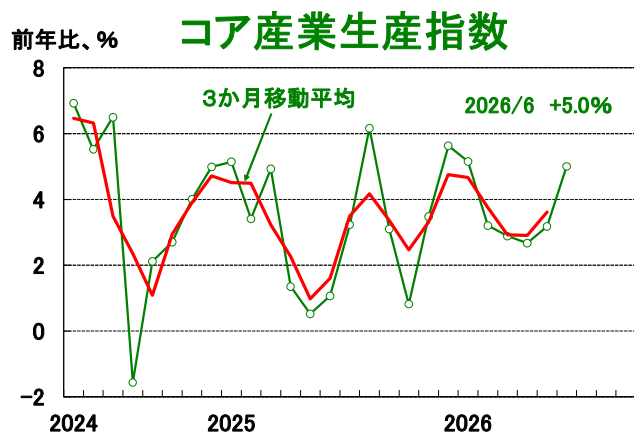
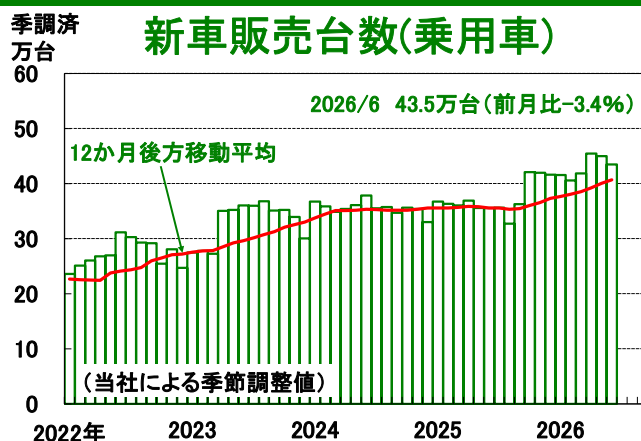
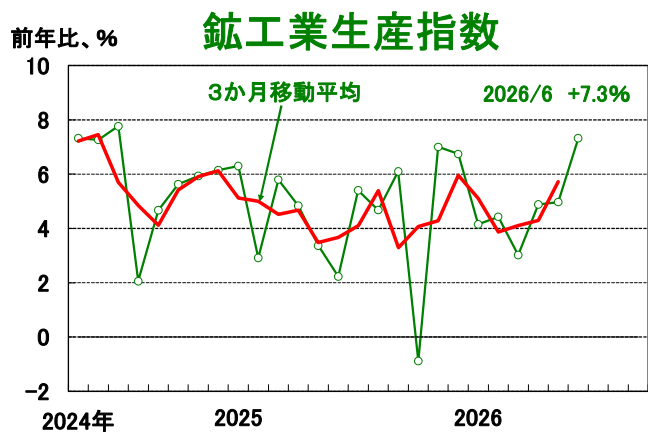


住宅価格指数



(出所) インド準備銀行、インド統計・計画実施省、OECD、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。



(出所) インド統計・計画実施省、インド商工省・同経済諮問部・同通商情報統計局、インド自動車工業会、インド準備銀行、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。